

会議概要附属機関等の名称 安曇野市上下水道事業経営審議会（抜粋）

1	会議名	令和元年度 第1回 安曇野市上下水道事業経営審議会
2	日時	令和元年10月23日（水） 午後1時30分から午後3時30分まで
3	会場	本庁舎 4階大会議室（西）
4	出席者	飯沼会長、臼井委員、大江委員、保尊委員、望月委員
5	市側出席者	久保田上下水道部長、沖経営管理課長、横山上水道課長、石川下水道課長、堀内管理係長、重野維持係長、松岡維持管理担当係長、長崎下水道整備担当係長、中島庶務担当係長、古畑庶務担当係長
6	公開・非公開の別	公開
7	傍聴人	0人 記者 0人
8	会議概要作成年月日	令和元年10月28日
協 議 事 項 等		
<p>安曇野市水道ビジョン平成30年度事業評価について</p> <p>会 長：安曇野市水道ビジョン平成30年度事業評価について事務局から説明をお願いします。 （事務局から説明）</p> <p><質疑></p> <p>委 員：A評価B評価は問題ないと思うが、C評価が問題だ。特に人材不足により未着手は、事務分担によるものなのか、仕事量によるものかをしっかり把握する共に、なぜ着手できなかったのかを確認されたい。</p> <p>事務局：今の状況は、人員不足ではなく人材不足の状況だ。C評価とした水安全計画の策定は非常に専門的な知識が必要で、特に電気・機械に精通した人材でないと作業が難しい。</p> <p>委 員：日々の管理の面で専門的な知識を持った職員の確保も大事であるが、専門知識をもっている民間企業等を頼ることもできる。その点も検討されたい。</p> <p>委 員：全国の自治体にも言えると思うが、人材確保・人材育成が課題と聞いている。日本水道協会も頼りながら、様々な団体を参考にしてパイプを作りながら情報交換をしていくことも大事と考える。また、水道ビジョンの計画に対し実施後のズレも必ず出てくるから、それもしっかり把握されたい。</p> <p>事務局：特に上下水道の仕事は長期的に在籍して知識を習得してもらう部署でもありと考えている。また、人材確保、人材育成も大きな課題ではあるが、今回の台風19号による上下水道に関連する報道を見ると、災害に対する準備も非常に大きな課題だ。</p> <p>委 員：今後起こるかもしれない災害のリスクを想定し、優先事項を整理して整備されたい。</p> <p>委 員：安曇野市の水源は地下水であるが、今回の台風被害と同様な災害が市内で起こった場合、水源としてはどのような懸念があるか。</p> <p>事務局：地震が起こった場合、濁水が発生する事があるが、水害の場合は機械設備等が冠水・停電により使用できなくなり、送配水が行えないことが考えられる。しかし、水質面では特に問題ないと考えている。</p> <p>委 員：水道未利用者に対する水道接続の目標があるが、必ず接続をしなければいけないのか。</p> <p>事務局：強制はできないが、水の安全利用の面で水道に接続していただきたい。</p>		

委員：井戸水等を使用している人たちへの安全利用のため、水質検査の義務付けはできないのか。

事務局：水質検査の義務付けは難しい。